



県民だより

第58号

●1994年1月20日発行 ●編集・発行/栃木県企画部広報課 〒320宇都宮市塙田1丁目1番20号 ☎0286(23)2158 ●県人口/1,977,514人/男985,522人/女991,992人●世帯数613,209世帯(1993年12月1日現在)



福祉機器を使用した入浴の説明(福祉機器に触れることがポイント)。



介護入門コース
「よりよい介護をめざして」の実践講義の風景。

介護支援の 充実にあわせて



栃木県介護研修・福祉機器センター
展示相談コーナー

福祉機器の購入のポイントは、いつ(時間・頻度)、どこで(場所)、誰が(対象者)、何のために(目的)を考えることです。

見て触れて...

高齢者・障害者介護の実習を通じて地域住民に介護の知識や技術を習得してもらうために、『栃木県介護研修・福祉機器センター』が県身体障害医療福祉センター内に10月1日オープンしました。当センターは、福祉機器・介護用品約30種、500点を展示しています。福祉機器の有効活用を図ってもらうため専門の相談員を配置しました。

■問合せ 栃木県介護研修・福祉機器センター
宇都宮市若草1-10-38
☎0286(24)4833 (機器展示室)
☎0286(21)7928 (研修室)

交通案内

JR宇都宮駅から関東バス

- ※戸祭行、若草町又は戸祭営業所下車徒歩5分
- ※日光行、鬼怒川行、今市行の場合、長岡街道入口下車徒歩3分
- ※日光、今市方面からの場合、長岡街道入口下車徒歩3分



長寿社会を支える

福祉事業



栃木県知事
渡辺 文雄

我が国は、今日、世界の最長寿国となり、正に人生八十年時代を迎えております。約三十年後には人口の四人に一人を六十五歳以上の高齢者が占める「超高齢社会」となることが確実です。

「老人福祉対策」は、「県政への要望」において平成二年度から四年連続してトップを占めています。県では高齢者が住み慣れた家庭や地域で健康で生きがいを持って生活できるよう、地域の人々が共に支え合える社会「いきいき長寿とちぎ」の実現のために、今年度中に「栃木県老人保健福祉計画(仮称)」を策定し、高齢者保健福祉施策の一層の充実を図っていくこととしていきます。

県民の皆さんのご協力をお願いいたします。

「高齢化社会」とは、総人口中の高齢者(六十五歳以上)の割合が七%を超えた国を言います。日本では、昭和四十五年(一九七〇年)に高齢者の割合が七・一%となり、平成四年には十三・〇%となっています。栃木県の割合は、十三・三%(平成四年)であり、全国平均を〇・三%上回っています。なお、人口年齢構成をみると、年少人口(十四歳以下)割合が十八・五%(全

介護技術・知識の普及

世帯規模の縮小、扶養意識の変化等により介護能力の低下が指摘されています。お年寄りの介護をしなければならぬが、介護の方法が分からないという方のために、介護研修・福祉機器センターでは、福祉機器展示・相談のほか、コース別に介護研修を実施しています。これらの研修は、一般の方に介護知識や技術を学んでもらい、介護負担の軽減や介護意識の啓発を目的としています。

●介護案内コース

福祉機器の体験を通して、介護の一般的な知識・技術を学びとる一日コース。来所した方が気軽に受けられます。団体の場合は予約制となります。

●介護入門コース

医師や看護婦、理学療法士、作業療法士を講師として、介護の心得や方法をカリキュラムに沿って修得していきます。毎週火曜日、四回受講して終了となります。

●ポフンティアコース

七日間の研修を通じて、ホームヘルパー三級課程が取得できます。全コースを受講した方には修了証書が交付されます。本格的に学びたいという方にお薦めです。



介護入門コース 対象者に合わせた介護技術を学ぶ(負担のかからない仰向けから横向きへの移動)

その他、保健婦、福祉事務所職員、ホームヘルパー、施設職員等の方に対して、専門研修を実施しています。

研修についてのお問い合わせは

県介護研修・福祉機器センター

☎0286(21)79288



↑「お年寄りの笑顔を見ただけでうれしい」というホームヘルパーの青木さん。(黒磯市阿波町) (写真上)
▼「週2回の訪問は大変助かります」と山口さんはホームヘルパーの尾又さん(黒磯市共郷社)の訪問を楽しみにしています。(写真右下)

めりある介護をめりして

県では住み慣れた地域で家族や近隣の人々と共に暮らしていただけるように在宅福祉対策に重点を置いていきます。

在宅福祉サービスの三本柱といわれる「ホームヘルプサービス」、「ショートステイ」、「デイサービス」について説明しましょう。

●ホームヘルプサービス

寝たきりや一人暮らしの高齢者の家庭にホームヘルパーが訪問します。食事・排泄・入浴等の介護、調理・清掃・洗濯などの家事援助、生活・介護相談などのサービスが受けられます。(写真)

●ショートステイ

介護者が冠婚葬祭や旅行などの理由により一時的に介護ができない場合に、短期間、特別養護老人ホームや養護老人ホームが利用できます。

●デイサービス

寝たきりや虚弱の高齢者の方などを送迎用のバスを利用して、デイサービスセンターでお世話します。入浴や給食などの介助サービス、日常訓練などの健康サービス、家族



介護者教室などのサービスが受けられます。また、通所ができない場合は、入浴、給食、洗濯サービスなどの訪問事業も行っています。

●その他のサービス

在宅介護支援センターでは、市町村の窓口に行かずに、気軽に在宅介護について相談できます。

このセンターでは、各種の保健福祉サービスを総合的に提供するため、在宅介護に関する各種の相談等に対して二十四時間体制で、専門相談員が応じています。県内では、現在一十ヶ所設置されています。

在宅福祉サービスは、高齢者自身のためばかりでなく、介護者の負担を軽減することをねらいとしています。介護者の方は、これらのサービスを有効に利用して心身のリフレッシュを図りましょう。

サービスの内容や利用手続きなどの詳細は市の福祉事務所・町村役場の老人福祉担当課までお問い合わせください。

困ったときは

34件
34件
37件
71件
37件
10件
33件

の手
とちぎ

とちぎの特産物

新しい年明けに「とちぎのファレノプシス」



ギフトの洋らんといえば、代表的なのが「ファレノプシス」。結婚式の花嫁のブーケとしてもおなじみの花で、一般には「コチョウラン」の和名のほうが広く知られているでしょう。

最近、白色花以外に桃色系や黄色系、小輪多花系、ミニ系など、さまざまな系統がつくり出され、出回るようになりました。

本県での洋らん栽培は、宇都宮市を中心に約60名の生産者によってガラス温室などで年間を通して行なわれています。その品質は、全国で高い評価を得ており、市場においても他の産地より高い単価で取引されています。

▶ 県首都圏農業課 (☎ 0286-23-2328)

とちぎ県を知る

一統計からみた栃木県

家庭においては少子化といわれ、一方では、高学歴社会と言われる昨今ですが、実際、児童・生徒数や進学率は、どのように推移してきているのでしょうか。

右の図は、昭和43年から平成5年までの児童・生徒数の推移を表しています。(図1)

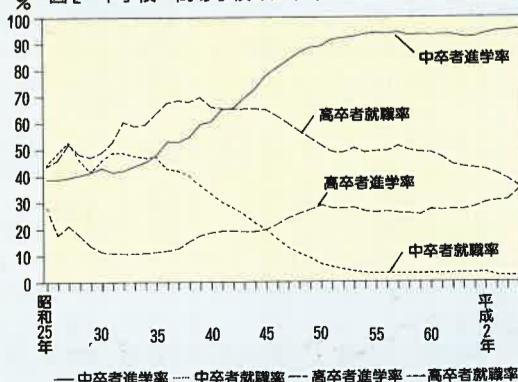
平成5年度の在学者数は、小学校150,972人(前年比1.6%減)中学校83,462人(前年比3.1%減)、高等学校92,269人(前年比2.7%減)となっています。

小学校児童数は昭和56年度を、中学校生徒数は、昭和62年度を、高等学校生徒数は、平成2年度をピークに減少しており、毎年1~3%の割合で減少傾向にあります。

さらに、卒業後の進路は、どのようにかわってきているのでしょうか。下の図は、昭和25年から平成5年までの進学率の変化です。(図2)

平成5年3月の中学校卒業者の進学率は95.2%(男子93.9%、女子96.4%)で前年度より0.3ポイント上昇し、高等学校卒業者の進学率は、33.2%(男子28.1%、女子38.5%)で前年度より2.1ポイント上昇しています。就職率は、36.2%で前年度より2.3ポイント減少しています。中学校については、昭和35年を境にはっきりと進学傾向がみられ、昭和51年には90%を上回りました。高等学校については、昭和39年には約70%の就職率でしたが、年々1~3ポイント進学者が増えています。

図2 中学校・高等学校の進学率・就職率の年度別推移



▶ 統計に関するご相談は「統計資料室」(県庁本館2階北側☎0286-23-2255)へ

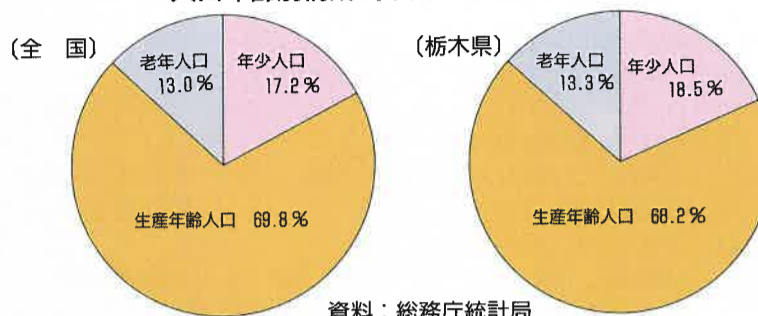


高齢化速度の国際比較

国名	高齢化率の到達年次		所要年数
	7%	14%	
日本	1970年	1995年	25年
イギリス	1930年	1975年	45年
アメリカ	1945年	2010年	65年
スウェーデン	1890年	1975年	85年
フランス	1865年	1980年	115年

資料：厚生省人口問題研究所「人口統計資料集」

人口年齢別構成(平成4年10月1日現在)



資料：総務庁統計局

国十七・二%、生産年齢人口(十五~六十四歳)が六十八・二%(全国六十九・八%)となっています。

高齢者やその家族のさまざまな悩み事について相談に応じています。
●高年齢者よろず相談
 生活全般にわたる相談について、センター相談員が応じます。
 月~金曜日(祝・祭日を除く) 八時三十分~十七時十五分
●専門相談
 それぞれの分野について、専門の相談員が応じます。
 事前に電話でご連絡ください。
 ・法律(弁護士)
 ・家族問題・財産や契約など
 毎週金曜日 十時~十二時
 ・年金、保険(社会保険労務士) 各種年金・社会保険など
 第一、第二木曜日
 十四時~十六時
 ・医療、健康(医師)
 病气予防・治療や痴呆など
 毎週月曜日 十四時~十六時
 ・住宅(一級建築士)

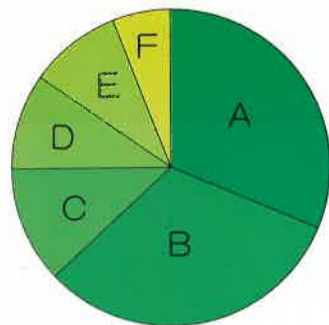
住宅の増改築・資金・設備など
 第一、第四水曜日
 十四時~十六時
 ・税務(税理士)
 所得・相談・贈与など
 第一金曜日 十四時~十六時



平成4年度の相談内容については、グラフのようになっています。
 「生きがいづくり」、「福祉サービス」の相談項目が六割を占めたことは、高齢者の皆さんが「住み慣れた地域での安心できる暮らし」や「知識や能力を活かした幅広い活動」などを望む傾向にあることといえるでしょう。
 自宅で相談をしたい場合には、遠慮なく各地区の民生委員にご連絡下さい。民生委員は地域住民と、市町村、社会福祉協議会をつなぐパイプ的な役割を果たしています。

問合せ 栃木県高齢者総合センター 栃木会館七階
 ☎0286(27)1122
 #80800(ハレハレ)で、つながります。

平成4年度高齢者総合相談事業 相談件数



A 生きがいづくり 20
 B 福祉サービス 20
 C 法律 10
 D 経済・生活 10
 E 保健・医療 10
 F 家族・家庭 10
 合計 70

問合せ 県高齢対策課 ☎0286(23)3057



届けます あった 温かハートと介護 (ホームヘル)

情報スクランブル

県庁のあて先
〒320 宇都宮市埴田1-1-20

催し

県立美術館 小山田 二郎展

少年期を大田原で過ごした小山田二郎は、独特の幻想的な画風で戦後の洋画界に異彩を放ちました。この展覧会は、油彩画と水彩画120点による彼の没後初めての回顧展です。

- ▶期間 2月20日(日)～3月27日(日)
 - ▶休館日 月曜日(3月21日は開館)、3月22日(火)
 - ▶時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
 - ▶観覧料 一般500円、高校・大学生300円、小・中学生200円、団体割引あり
 - ▶講演会 3月6日(日)午後2時、当館集会室
講師：針生一郎氏(和光大学教授・美術評論家)
演題：「小山田二郎の芸術」
- ※2月6日(日)まで「冬のメルヘン～20世紀のドイツ美術の神話」を開催しています。

農業試験場栃木分場 20周年記念公開デー

農業試験場栃木分場は、昭和49年に南河内分場から移転して以来、平成6年で満20周年を迎えます。これを記念して、栃木分場周辺地域の変遷とこれまでの研究成果を知っていただくため、関係機関の協力を得て公開デーを開催いたします。

- ▶日時 2月10日(木) 午前9時～午後3時
 - ▶会場 農業試験場栃木分場
栃木市大塚町2,290
 - ▶内容
 - ・栃木分場と周辺地域のあゆみ
 - ・研究施設および研究内容の紹介
 - ・試験研究成果の展示
 - ・試験圃場の公開
 - ・新しい農業用資材等の展示
 - ・いちご苗、花苗のプレゼント
 - ・県内特産品の展示・販売
- その他、たのしい催物がたくさん開催されます。



県立博物館

第46回企画展「寒山・拾得 —描かれた風狂の祖師たち—」

寒山・拾得(共に中国唐代の超俗の人)を画題とした中世から近世の水墨画の優品を紹介します。

- ▶期間 2月6日(日)～3月13日(日)
- ▶時間 午前9時30分～午後5時
(入館は4時30分まで)
- ▶休館日 毎週月曜日
- ▶観覧料 一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円、団体割引あり
- ▶記念講演会
 - ▶日時 2月11日(金) 午後1時30分～3時
 - ▶講師 慶応大学教授 衛藤 駿氏
 - ▶会場 博物館講堂
 - ▶定員 200名
 - ▶参加料 無料
- ▶企画展見どころ解説
 - ▶日時 2月20日(日) 午後2時～3時
 - ▶会場 博物館企画展示室
 - ▶定員 40名
 - ▶参加料 無料(観覧料は必要)



▲寒山拾得図 雪村周継筆 室町時代 栃木県立博物館蔵

募集

栃木県学生寮入寮者

募集人員		対象
男子	東京寮 約30人 浦和寮 約40人	大学・短大・2年以上の専修学校専門課程に進学希望の方
女子	東京寮 約70人	

栃木県育英会奨学生

(平成6年4月に進学希望の方が対象です。)

貸与月額	人員
高校奨学生 13,000円	20人
大学奨学生 自宅通学 25,000円	50人
大学奨学生 自宅外通学 33,000円	
青木哲雄・粟田口重平奨学生 大学医学部 100,000円	若干名
大学 80,000円	

(貸与月額、人員は予定です。)

- ▶期間 2月10日(日)まで
- ▶募集要項等の配布 県内高等学校、市町村役場、県教育事務所、県民センター、県民相談室、県育英会事務局
- ▶問合せ 県育英会事務局 ☎0286-23-3459

案内

子育て環境づくりシンポジウム

- ▶日時 2月16日(日)開場12:00 開演13:00
 - ▶会場 佐野市文化会館
 - ▶内容
 - ・講演テーマ「子どもと家庭」
アグネスチャン氏
 - ・パネルディスカッション
「子どもや家庭にやさしい地域社会づくり」
をめざして
- ※入場料は無料です。
当日は託児室(2歳以上小学校就学前の子を対象)を用意いたしますので、利用を希望される方は事前に連絡下さい。

▶問合せ 県児童家庭課 ☎0286(23)3061

用紙の大きさが B判からA判へ

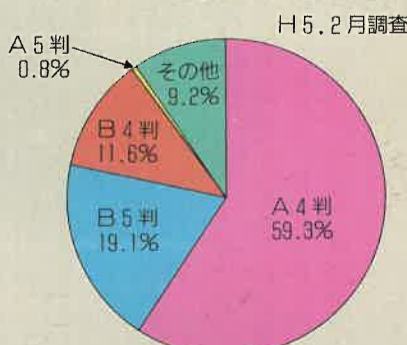
平成6年4月から県の公文書の主流はA4判

文書の簡素化
文書の減量化
文書の平明化

を図り → 省資源・経費の節減を図る
(分かりやすくむだを出さない文書)

国は平成5年4月1日から A判化を実施しています。

県内民間企業にお聞きしました。現在、貴社で使用している事務用紙のサイズの比率は？



※県に提出する書類については、担当する各課・各事務所に尋ねてください。 A判化全般についての担当 文書学事課文書管理係 ☎0286-23-2050

県政テレビ番組 ウィークリー 栃木

毎週木曜日 AM 8:30～8:45
テレビ東京12チャンネル



県内各地のホットな話題を私たちがレポートします。

■1月27日「できるかな? 岡本小学校記録に挑戦」(河内町)
■2月3日「麵のコシで町おコシ ～今市手打そば&足利尊氏ら～めん」(今市市・足利市)

文字放送

- 毎日午前6時～午後12時 1チャンネル(550#)
- NHK総合テレビの電波に多重し、県からのお知らせ、生活情報を常時放映しています。
- 文字放送を見るには…文字放送受信機能を組み込んだ文字放送内蔵型テレビか、文字放送専用アダプターが必要です。



県政ラジオ番組 (栃木放送)



- 県民の窓……………毎週日曜日～金曜日 午後0時15分～0時30分
- 県庁ダイアリー……………毎週月曜日～土曜日 午前8時42分～8時47分
- 県政アラカルト……………毎月第3日曜日 「知事さんこんにちは」 午前9時15分～9時45分

あなたの声を県政に

- 県政についてのご意見・ご要望・日常生活でお困りのことなど、お気軽にご相談ください。
- 中央県民センター ☎0286-23-3765
- 安蘇県民相談室 ☎0283-24-2603
- 県南県民センター ☎0282-24-5665
- 足利県民相談室 ☎0284-42-9700
- 県北県民センター ☎0287-23-1555
- 小山県民相談室 ☎0285-22-9164
- 上都賀県民相談室 ☎0289-64-9419
- 塩谷県民相談室 ☎0287-43-2142
- 芳賀県民相談室 ☎0285-82-5888
- 南那須県民相談室 ☎0287-83-1555